

天地人真の父母様招請 アメリカCARP特別午餐会

“真の父母様と独り娘・真のお母様と一つになるとき奇跡は起こる!”



①真の父母様と記念撮影する韓日米の CARP メンバーたち ②み言を語られる真のお母様



2018 年の下半期を出発する最初の日である 7 月 1 日、真のお母様は、日本宣教 60 周年を記念する「2018 神日本家庭連合 希望前進大会決意 2 万名大会」を大勝利されました。そして、祝勝会で希望に満ちた二世、三世たちのパフォーマンスをご覧になり、とても喜ばれました。

真のお母様の勝利を祝賀するような晴れわたる天候のもと迎えた 7 月 2 日、お母様は少しも休まれることなく、母の国・日本を訪問中であるアメリカ CARP のメンバーたちを都内のホテルに招待され、「天地人真の父母様招請 アメリカ CARP 特別午餐会」を主管されました。

前日の 2 万名大会の勝利をアメリカ CARP メンバーたちに連結して下さるため、真のお母様は前日の祝勝会でお召しになられた黒のガウンを着用され、韓国 CARP の 10 人と日本の CARP・青年メンバー 60 人、そしてアメリカ CARP の 300 人と指導者ら計 400 人が待機する午餐会場に入場されました。参席したメンバーたちは、熱い歓声と涙で真のお母様をお迎えし、真のお母様も明るい笑顔で参席者たちの敬拝を受けられました。続いて、お母様はアメリカ CARP 代表の花束を受け取られたあと着席され、

キムギン 金起勲・北米大陸会長の開会宣言で特別午餐会が始まりました。

開会宣言のあと、徳野英治会長が代表報告祈禱を行い、アメリカと日本、そして韓国の CARP メンバーが真の父母様の招請のもと、午餐のひと時を持つこととお許し下さった天の父母様と真の父母様に感謝を捧げたうえで、4 月のヨーロッパ大会勝利と 1 月のアフリカ・サミット勝利の背後には CARP メンバーたちの活躍があったことを強調。最後に「きょう集まったアメリカ CARP の 300 人を中心とする韓日米の CARP・二世圏の 400 人が真のお母様と完全に一つとなり、世界を救うため CARP・二世圏青年運動の先頭に立ち、与えられた役割を完遂することを祈願します」と述べました。

続いて金起勲会長が挨拶し、「アメリカは CARP 活動を通して 300 人を集め、今後 50 州に CARP ムーブメントを起こす決意を固めるため、日本に来ることになりました」と今回のアメリカ CARP の日本訪問の意義を説明しました。また、テレサ・リシェ

ル・アメリカ CARP 会長は「私たちは孝情文化のチャンピオンとして、アメリカ全体を代表し、美しいお母様に感謝し、決意を証します」と語りながら、アメリカ CARP の代表として平木蒼淑さんを紹介しました。

蒼淑さんは「昨年、120 人の学生を日本に連れてきた時、真の父母様のみ言を深刻に考え、アメリカに帰って 3 つの決意をしました。第 1 は、ロサンゼルス CARP を拡大して 7 つの CARP センターをつくること。二つ目は、宗教、教育、政治指導者と一緒にしながら、復興の精神をアメリカに取り戻すための運動を始めること。そして最後に、次の孝情ツアーに 300 人の学生を連れて行くことでした」と説明。そして自己中心的な考えを克服し、真のお母様のようにするため、孝情の心情を相続するために精誠を尽くした土台のうえで、日本にもう一度来ることになったと語りました。続いて、蒼淑さんの母親である平木直子さんが登壇し、決意表明を行いました。直子さんは「『天の父母様とともに、真のお母様と

一つになると奇跡が起きる』とのみ言を胸に抱いて、ロサンゼルスへの復帰を通じてアメリカを立てるつもりです」との決意を伝えながら、ロサンゼルスで出会った有名な牧師を伝道した内容を報告。最後に「お母様、愛しています。私たちは、決意します。アメリカを真の父母様の懐にお返しいたします。ありがとうございます」と力強く決意を述べました。

続いて、ラスベガス CARP のリーダー、ジニル・フライシュマンさんが証しを行いました。ジニルさんはその中で、勧誘活動中に真のお母様の人類に対する愛を心情的に感じるようになったと語ったうえで、「私は大学を卒業して CARP スタッフになります。CARP メンバーは未来の指導者です」と希望と抱負を語り、最後に「お母様、心配なさらなくてください。我々は世の中のため中心人物になって世界を動かします」と確固たる決心を真のお母様に伝えました。続いて、本山勝道・日本 CARP 会長の力強い「勝利提議」(乾杯の音頭)とともに午餐会が始まりました。

午餐会の終盤、真のお母様の願いを受け、尹鎭



①真のお母様のみ言に耳を傾ける CARP メンバーたち ②「勝利提議」をされる真のお母様とメンバーたち ③「無条件」のダンスと歌で決意を表現するメンバーたち ④挨拶するテレサ・リシエル・アメリカ CARP 会長 ⑤「勝利提議」を行う本山勝道・日本 CARP 会長

①報告祈禱を行う徳野英治会長 ②司会をする金起勲・北米大陸会長 ③戦略活動発表を行う尹鎭鎬・世界本部事務総長 ④活動の証しを行うアメリカ CARP メンバー ⑤フラダンスを披露する祝福二世のメンバー

永遠に大切にする真の父母様との心情的な因縁と追憶のひと時

鎬・世界本部事務総長が「カトリック平和統一国安着に向けた世界宣教平和戦略活動」と題して発表を行いました。尹事務総長は 30 分間の発表で、真のお母様を中心に全世界が動いていることを証言。出席した 400 人の韓日米の CARP メンバーたちと指導者らは「中断なき前進」を実践躬行される真のお母様に深い感謝を捧げました。

引き続き、出席者たちが熱烈に拍手しながら歓呼する中で、真のお母様が登壇されました。

真のお母様は「お昼はおいしく頂きましたか。(はい)心の糧となるみ言も、おいしく頂きましたか。(はい)どちらがよりおいしかったですか」と参加者に問い掛けながら、み言を始められました。真のお母様は「昨日のみ言の中でも、韓国、日本、アメリカが、世界摂理の主役にならないと話しました。天の摂理で主役とならなければなりません」と語られ、イエス様を送られるための天の苦勞について述べました。そして真の父母様によって始まったアメリカ宣教に関する話とともに、アメリカ CARP について「アメリカの若いあなたたちが決断しなければなりません」と強調されたうえで、「もう、私たちには失敗はありません。成功だけです。勝利だけです。何が恐ろしいですか。堂々と真の父母様と独り娘、真のお母様と一つになった位置では、奇跡が起こるしかあり

ません」と力強く語られました。(真のお母様み言全文は 7-8 面に掲載)

真のお母様の呼び掛けに、出席したすべての CARP メンバーたちは元気に大きな声でお答えするとともに、涙を流しながらお母様から孝情を伝授されるひと時となりました。続く文化公演は、CARP メンバーたちが孝情の心情を真のお母様にお見せする機会となりました。韓日米の CARP メンバーたちは、聖歌「成和勇士の歌」と「Generation of Righteousness」を力強く歌ったあと、真の父母様に対する孝の心を描いた「孝心」を韓国語と日本語で心情的に歌い上げ、続いて参加者 400 人余りの決意を込めて「無条件」の歌とダンスを披露し、真の父母様に決意を表明。真のお母様が、韓日米の CARP メンバーの歌とダンスを満面の笑みを浮かべて傾聴される姿を見ながら、参加者らは表現しきれない幸福感を感じ、永遠に残る真の父母様と心情の因縁を結ぶひと時となりました。

文相弼・韓国 CARP 会長の力強い億万歳三唱のあとに、参加者全員が真のお母様に敬拝を捧げ、真のお母様は慈愛に満ちた笑顔と共に手を振りながら退場され、特別午餐会は閉幕しました。

アメリカCARPの300人が「HJツアー」で日韓訪問

真のお父様の聖和後、真のお母様は、VISION2020 勝利の戦略を「伝道」「伝道環境創造」「未来人材養成」という 3 つの部分で推進してこられました。その中でも「未来人材養成」において、真のお母様の関心はこの 5 年間を通じて少しずつ実を結んできています。今年 6 月 26 日から 7 月 11 日まで、真のお母様のご指導のもと、アメリカ CARP メンバー 300 人が父母の国を訪問し、天の伝統を相続する期間を過ごしています。

これは 2 年前、真のお母様が、アメリカの二世圏を生かすため、かつてアメリカ開拓伝道の中心メンバーだった在米日本人会「個団」のメンバーたちに語られたことが中心となってスタート。真のお母様のみ言に基づいて、2 年前にロサンゼルスを中心に 40 人のメンバーを対象として日本訪問教育ツアーが行われ、昨年には 3 倍の 120 人が参加。今年はそのさらに約 3 倍の 300 人が全米から参加しています。

彼らはまず母の国・日本に到着して 6 月 27、28 日の 2 日修練会を通じて原理のみ言と真の父母様の生涯について学んだ土台の上で、29 日には、真のお父様が日本留学時代に歩まれた東京の早稲田・高田馬場で聖地巡礼。早稲田大学では早稲田大学 CARP が主催する交流イベントにも参加しました。翌 30 日には、東京・多摩市で日本 CARP のメンバーと交流を深める時間を持ちました。



グループ・ディスカッションをする日米の学生たち

国際交流イベント “International Borderless Conference”

6 月 29 日、国際交流イベント「International Borderless Conference」(主催・早稲田大学 CARP)が早大の早稲田キャンパス 15 号館で開催されました。今回で 2 回目となるこのイベントは、早稲田大学 CARP が推進している活動「Project Borderless」の一環。「Friendship～日本の未来を変える一隻～」をテーマに、当日は日本の学生約 100 人に加え、アメリカなどから約 300 人の海外学生も参加し、日米の未来について語り合いました。



①早稲田大学で開かれた国際交流イベント



②「孝心」を共に歌う韓日米の CARP メンバー

“天の父母様と真の父母様の下に私たちは兄弟姉妹”

日米の学生によるスピーチでは、最初に、早稲田大学 CARP のメンバーが「日米連携の必要性」と題してプレゼンテーションし、日米が韓半島問題を解決するカギを握っており、両国が損得を超えたより高次の関係を構築することの必要性を述べた上で、「学生たちにはあらゆる壁を打ち壊す力があります。世界平和のビジョンと夢を抱いて、ともに立ち上がろう」と呼びかけました。

また、アフリカのコンゴ共和国で生まれたアメリカ CARP のメンバーは、「The Way to True Peace」と題するスピーチで、戦争に巻き込まれた体験を告白。「人間同士の争いがなくならないのは、平和を間違ったところから探そうとしているからであり、違いばかりを探してきた人間が国境を作ってしまったのです」と指摘し、「CARP では他者のために生きる愛について学んでいます。……愛で心は満たされ、その愛を隣人に施すことができる若者になりましょう」と訴えました。

その後、互いを理解し、日米の友好関係を築くためのイベントを考えるグループ・ディスカッションを行いました。言葉の壁に苦戦するグループもありましたが、「平和をテーマとしたドラマと一緒に製作する」「日米それぞれの料理と一緒に作り、一緒に食べている様子を動画で配信する」などのアイディアが出ました。

最後に、「You are my sunshine」を全体で歌い、同イベントは幕を閉じました。

「国際 CARP カンファレンス」に 450 人参加

6 月 30 日、「国際 CARP カンファレンス (International CARP Conference)」が東京都内の会場で開催されました。カンファレンスには、韓日米のほか、イギリス、コスタ

リカ、台湾の CARP メンバーや中高生など約 450 人が参加。「CARP から創る未来」をテーマに各国の活動報告や証し、昼食時には国際交流が行われました。

カンファレンスは午前と午後の二部構成で行われ、午前の部では現在行なっている CARP 活動の報告やメンバーの証しがあり、午後の部では理想的な未来を創るために、CARP メンバーとしてできることを、日韓両国のメンバーがプレゼンテーションしました。

昼食の時間は、7～8 人が一つのグループをつくり、交流会が行われました。各グループとも自己紹介から始まり、趣味や好きな音楽、大学での専攻科目などを共有。言葉の壁はあるものの、お互いの話を真剣に聞き合う姿が印象的でした。プレゼント交換では、日本のメンバーは扇子や箸、小物など日本の伝統文化にちなんだプレゼントなどを贈り、アメリカのメンバーからは、人形やキーホルダーなどが贈られていました。また、同じグループになったメンバー同士で連絡先を交換し合う姿も多く見られました。

午後の部では、日韓両国の CARP メンバーからプレゼンテーションがありました。日本の CARP メンバーは冒頭、「CARP 活動を通して、真の父母様のご事情、ご心情、願いに触れ、一つの夢が与えられました」と説明。大学で大気汚染問題について研究していることを紹介した上で、「神様の夢はエデンの園で子供たちと永遠に愛を分かち合っている世界です。……神様が私たちを愛するために創造くださった自然環境を取り戻したいです」と夢を語りました。

その後、韓日米 3 人の CARP メンバーが登壇して、カンファレンスの感想と今後の決意を発表。最後に愛唱歌「孝心」を全体で歌う場面では、涙を流す CARP メンバーが多かったです。



「国際 CARP カンファレンス」に参加した韓日米の CARP メンバーたち

特別午餐会の感想

ニュージャージー CARP K・N (男性)

真のお母様のみ言を通じて、「真の父母の子女として立ち上がってほしい」と願われるお母様の痛切な想いを感じました。お母様と韓日米のリーダーから得た知恵を総動員し、私の地元の州に霊的な災で燃え上がらせたいです。この世界には真の父母様を知らない人の心情までも転換することのできるもっと若く情熱的な指導者が必要です。

ロサンゼルス HARP K・H (女性)

きょうの真のお母様を中心とする午餐会は、非常に素晴らしい体験でした。お母様が入場されたとき、真の父母様は私たちの大きな歓声を聞いて本当に喜んでおられると感じ、涙が出そうになりました。

お母様のみ言を通じ、自らの責任と真のお母様から子女として受けた愛について感じました。「これが最後のチャンス」とのお母様を本当に深刻に受け止めました。天の父母様と真の父母様をもう嘆き悲しませたくありません。

神戸 CARP T・Y (女性)

今回初めてお母様にお会いしました。率直に感じたのは、お母様にとって私たちは本当に愛しい存在なのだなということです。お母様の愛にふれるとアメリカ CARP の兄弟姉妹が愛しく可愛らしく見え、母親の心情を通過させてもらうなど、お母様の日本に対する母の国として母の心情を相続し、母の相対に一番立ってほしいという願いを感じました。お母様、私がお母様の一番の心情の相対に立ち、お母様と共にみ旨を成す子女として立っていきます！

鳥取 CARP H・H (男性)

真の父母様が午餐会場にご入場された時に感じたのは、お母様の愛は自分自身のこれまでの苦労を全て忘れ去らせてくださり、ただ、感動と慰労を感じさせていただけるものだということでした。この度、お母様から 1000 万ドルの微笑みを頂きましたので、韓国日本アメリカの CARP が一つとなって、お母様の願いに応え、お母様から直接の愛と祝福を受けた者として、与えられた責任を果たす救国救世の勇士となっていきたいと思ひます。



億万歳をされる真のお母様と参加者たち



①メンバーの証しに耳を傾けられる真のお母様 ②真の父母様に「孝心」の歌を捧げる CARP メンバーたち

アメリカCARP特別午餐会における真のお母様のみ言全文

お昼はおいしく頂きましたか。(はい) 心の糧となるみ言も、おいしく頂きましたか。(はい) どちらがよりおいしかったですか。(み言です)

昨日のみ言の中でも、韓国、日本、アメリカが、世界摂理の主演にならなければならないと話しました。天の摂理で主演とならなければならない。そうするために、墮落した世界に再び来られると言った再臨のメシヤの環境圏を、安全なものとしてつくりあげる苦勞をしたのが、アメリカという国の誕生です。

再び来る、最後である。この最後に人間がもう一度失敗するようになれば、救援がありますか、ありませんか。深刻な、この地球星がなくなれば、人類もなくなるのではないですか。キリスト教の2000年の歴史は、昨日も言いましたが、イエス様の本質が分からない、天の摂理も分からない、人間中心で続いてきました。それゆえに多くの失敗をしました。多くの過ちを犯したのも、キリスト教の環境圏でのことです。カトリック教会も過ちをたくさん犯しました。プロテスタントも同じです。どうして神を信じるという人たちの中から、「神は死んだ」、「神はいない」という、そんな共産主義が出てきますか。さらには「解放神学」だとか、「開放神学」だとか、これもカトリック教会から出てきました。(このようにキリスト教は) 限界に達しました。

(神様が) アメリカを選ばれたのは、神様が、再び来られると言われた再臨のメシヤの環境圏をつくるためです。一人の指導者の王政ではない民主主義国家として、人や民をまず理解する、そのような民主主義の国として育ててられました。そ

れで再臨のメシヤを迎えることのできる環境圏とならなければならないのに、そのアメリカが家庭破綻、青少年問題、ヒッピー、イッピー、さらには共産主義の脅威を受けていることも知らずに右往左往するとき、真の父母であり、天の摂理が分かるために、アメリカを救うことが世界を救うことであると知っているために、1972年にアメリカへ渡ってきました。

1960年に真の父母として登場して、摂理を成される過程は10年余りにしかならない、韓国が重要です。韓国に基盤を築くのも、本当に容易ではありません。ところがアメリカに向かいました。アメリカで40年余りを犠牲にされました。アメリカのために生きることは、世界を生かすためでした。ところがそのアメリカも、再臨のメシヤを歓迎することができませんでした。追い出そうとしました。世界摂理のために、アメリカで計り知れないほどの投資をしました。世界の首都だというワシントンに、新聞はワシントン・ポスト紙一つしかありませんでした。ところが、ワシントン・ポストはリベラルです。それで、ワシントン・タイムズを設立するために、膨大な財政的投入をしましたが、この勢力が大きくなること(を危惧した人間)、天の摂理が分からない人間……。自分たちも本来、元々はアメリカ人ではありません。すべて移住してきました。移民してきました。移民者たちです。ところが、数百億を投入したのに、幾千ドルの税金を出さないと、(お父様を) 監獄に送りました。これは話になりますか。アメリカは過ちを犯しましたか、犯しませんでしたか。(過ちを犯しました)

蕩滅を払わなければなりません。過ったならば、悔い改め

て代価を払わなければなりません。しかし、父母なので、真の父母であるので、アメリカを長子として立てて下さいました。長子。アメリカで、特にこのCARPメンバーたちは、日米祝福家庭に生まれた2世たちが大部分です。それほど全世界で食口たちがアメリカを探し立てるために、そのように犠牲的に苦勞しました。この個団(在米日本人会)というのも、日本婦人、すべて日米家庭です。アメリカを生かすことは、世界摂理を助けることだと考えたので、彼らを個人的に見れば困難が多かったでしょう。第一に言葉は通じず、文化は異なり、色々な面でとてもつらかったでしょう。しかし父母様が顧われ、父母様が共にいらっしゃるので、最後まで位置を守った誇らしい私たちの一世たちを知らなければなりません。(拍手)

昨日の大会で、私が二世、三世だけを褒めたと、一世である人が億万歳に出てきて、「一世も褒めて下さい」と言いました。一世たちを褒めなかったのではありません。一世たちがよく生きてくれたから、私たちの未来を担う心強い二世たちがよく成長しているので、ありがたいことです。(拍手)

アメリカは天の前に祝福を受けた国です。祝福を受けた国は、責任を果たさなければなりません。責任、その責任を果たさなければ、蕩滅が残るようになります、蕩滅。しかし、幸いにも真の父母が地上にいますので、真の父母が地上にいます間に皆さんが責任を果たすならば、その蕩滅は免れます。(拍手)

自由な平和世界、地上天国は、蕩滅のない世界です。蕩滅のない世界。私たちはそこに向かっていて、その世界をつくるための主演になろうと努力しています。そう、アメリ

カから来た360名のCARPメンバー、決意しましたか。(はい) 私がお父様の聖和後に、私の生涯が尽きるまで、私は天の父母様の夢、そのみ旨を、地上で成して差し上げようと約束しました。あなたたちは、私が生きている間に、祝福を受けた韓国、日本、アメリカは特に長子の国として、真の父母様の前に孝子、孝女、忠臣とならなければなりません。アメリカの若いあなたたちが決断しなければなりません。分かりましたか。(はい)(拍手)

もう、私たちには失敗はありません。成功だけです。勝利だけです。何が恐ろしいですか。堂々と真の父母様と独り娘、真のお母様と一つになった位置では、奇跡が起こるしかありません。(アーチュ)(拍手)

私はよく分かりませんでした、私の声が驚くほど美しいそうです。(歓呼、拍手) そしてまた、私はよく分かりませんでした、私のほほえみは百万ドル、千万ドル以上のほほえみだそうです。(アーチュ)(拍手) そうであるならば、そのほほえみを惜しんで、皆さんだけに見せてあげなければなりませんか。(はい)(拍手)

皆さんはみ旨の前に健康で美しく成長し(て下さい)。天の父母様の夢、真の父母様の夢、人類の願いは平和世界です。天の父母様を中心とした人類一家族、平和世界、地上天国です。その道が目に見えますか、見えませんか。(見えます) そうであれば、一心不乱にその道のために走って行きましょう。(アーチュ、はい)(歓呼、拍手) そこで先頭に立つアメリカのCARPメンバーになりましょう。(はい)(拍手)